

# 2019 / 2020

## おしゃれに、ポップに、 みんなで自然体験！

### 「次世代型海洋センター（艇庫）の先進的活用」などの支援事例

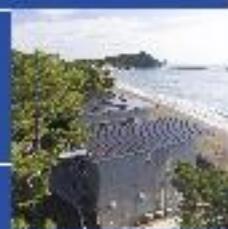
徳島県 阿南市



宮城県 加美町



## ANAN



## KAMI



4つのコンセプト

フィールド **海**

地域組織・団体と協働し、誰もが海に親しめる施設へ

多機能

海の監視機能を有する複合型施設

期間

オフシーズンも活動する通年型利用

他団体

多様な団体や組織との連携

地域づくり

地域活性化・地域外からの交流人口増加

誰もが海に親しめる次世代型艇庫として、4つのコンセプトを掲げ利用促進を図っていきます。新艇庫がオープンした2019年度は、地元の各団体と連携したイベントを実施するとともに、年間を通じた教室や体験会をスタートさせました。

■新艇庫プレイベント ビーチセッションフェスティバル

日時	2019年8月4日(日)
参加人数	1,024人
内容	マリンスポーツ体験会(SUP・カヌー・アクアボール・水上トランポリン)、地引網、ステージイベント、ビーチサンダル飛ばし、宝探し等
連携団体	中林漁協協同組合、北の脇海水浴場組合 他



水上トランポリンやアクアボールなど水上遊具で海を満喫

■複合型イベント BlueとGreenで繋ぐビーチ&カルチャー

日時	2019年11月2日(土)
参加人数	538人
内容	【海】: SUPレース、SUP・カヌー体験、砂山崩し、ユニバーサルビーチプロジェクト(肢体不自由児の海体験サポート) 【艇庫】: ドローン体験、ウクレレレッスン、ジャズライブ、トークショー、藍染体験、ポッチャ体験
連携団体	徳島県障がい者スポーツ協会、須磨ユニバーサルビーチプロジェクト、中林漁協組合婦人会、日亜化学工業(株)ドローン部(地元企業)、kukahi(SUP専門店) 他



舟艇格納場所を活用しトークショーを実施

年間を通じた活動

親子で体験 海辺のまなびや

環境

子供達に海や自然に対する興味関心を高めてもらおうと、隣町にある牟岐少年自然の家の協力を得て、「海辺のまなびや」を月に一回開催。



11月	煮干しの解剖
12月	イカの解剖&イカスマアート
1月	防風林のはたらき
2月	海藻&海草観察会
3月	プランクトンについて

地元で水揚げされたアオリイカを解剖し、食物連鎖について学びました

ビーチヨガ

健康

艇庫前の砂浜でヨガ教室



ドローン教室

科学

地元企業の協力を得て月に1回ドローン教室を開催



# 施設紹介



移設前の阿南市那賀川海洋センター艇庫

阿南市那賀川地区から、北の脇海水浴場へ移設(新設)した海洋センター艇庫

新艇庫施設概要(右側写真)

【構造】鉄骨造2階建 【敷地面積】797.36㎡  
 【建築面積】342.13㎡ 【竣工年月】2019年10月  
 【総工費】150,000,000円(税抜)  
 ※ B&G財団支援3,000万円他

## 1階



利用者が気軽に立ち寄れるカウンター式の受付

### シャワー・舟艇洗い場



艇庫脇に、舟艇を洗うスペースと海水浴客も使用できる屋外シャワーを設置

### 艇庫部分



天井高4Mの舟艇を格納する艇庫部分では音楽ライブなどのイベントも開催可能

### 外階段



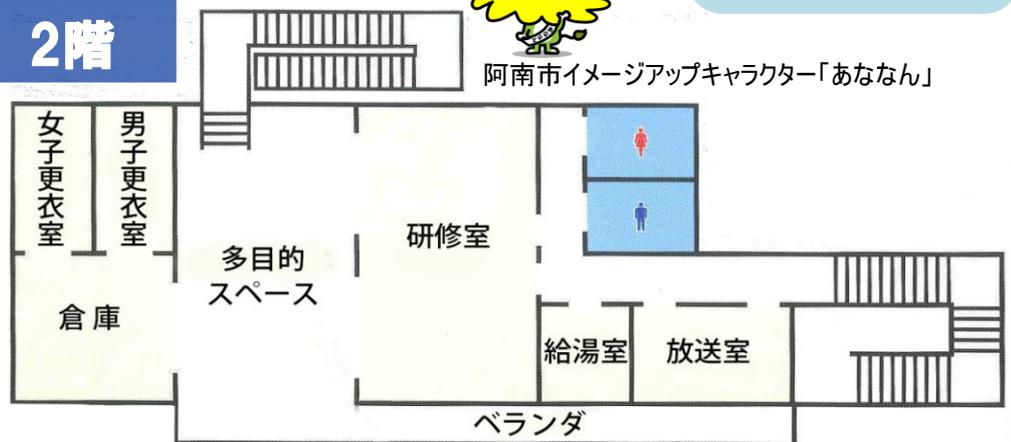
濡れた体でも2階に上がる外階段

### 倉庫・更衣室・シャワー



倉庫の奥には、男女別の更衣室とシャワー4ブースを完備

## 2階



### 多目的スペース

ウッドデッキの開放された空間で、研修室と一体利用も可能



### 研修室

スライディングウォールにより2室に分割可能な研修室



4つのコンセプト

インクルーシブな艇庫活動 健常者も障害者も分け隔てなく

フィールド



障害者

- ・カヌー体験会
- ・スタッフ育成講習
- ・パラスポーツ啓発

教育

- ・インクルーシブ教育
- ・水辺の安全教育

多目的

- ・複合型イベント
- ・子育て支援事業

自然体験

障害者・健常者へ  
向けた更なる  
自然体験の提供

インクルーシブな次世代艇庫として、4つのコンセプトを主軸に事業展開を図ります。2019年度は、リニューアルに向けた土台作りと周知のため以下の3事業を行い、2020年度は通年を通じた活動を実施予定です。

複合型イベント リバーサイドフェスティバル in 加美

障害者や健常者にとらわれず、誰もが楽しめる活動の提供と「2020年度の艇庫リニューアル」をより多くの人に周知することを目的に、「リバーサイドフェスティバル in 加美」を開催。

日時	2019年9月14日(土)
参加人数	988人
連携団体	①宮城県障害者スポーツ協会 ②大崎地域広域行政事務組合消防本部 ③クローバーハウス(障害者自立支援センター) ④加美パルコ(障害者自立支援センター)
備考	参加障害者数 27人



実施プログラム



カヌー・SUP体験



パラスポーツ(ボッチャ)体験



消防士体験(放水・はしご車)



障害者自立支援センターの販売



ストライダー体験



加美町公認  
キャラクター  
「かみ〜ご」



加美町は、東京2020パラリンピック開催に係る『チリ共和国』のホストタウン。東京2020応援プログラムの一環として、バルセロナ五輪金メダリストの「岩崎恭子」氏、住みます芸人の「バクコメ」を迎えて、トークセッションなども行いました。

## ■講習会 「障害者カヌー」サポートスタッフ育成講習会

日本障害者カヌー協会会長の吉田義朗氏を講師に、障害者へ向けたカヌー体験を提供する際の指導者となる「サポートスタッフ」を育成する実践型講習会を実施。

日時	2019年9月22日(土)
参加人数	26人
連携団体	①日本障害者カヌー協会 ②B&G東北ブロック連絡協議会



秋田県や山形県など東北ブロック連絡協議会の B&G指導者も多数参加！

## ■体験会 B & Gインクルーシブカヌー体験会

実際の障害者へ向けたカヌー体験と9月に実施した講習会修了者の実技指導の場として、加美町内の温水プールにて、「B & Gインクルーシブカヌー体験会」を開催。

日時	2019年11月16日(土)
参加人数	41人(スタッフ・介助者含む)
連携団体	日本障害者カヌー協会



障害者  
9人参加！



身体障害者・知的障害者の方へ、カヌー体験の場を提供。サポートスタッフは講師の指導のもと、参加者の介助など、体験会の補助を行った。

## 施設改修と次年度計画

加美町中新田海洋センターは、2019年度の修繕助成制度における艇庫特別施設整備事業として採択され、B & G財団から3,000万円を支援。施設は2020年4月にリニューアルオープンを予定しています。



旧施設

### 施設工事概要

【構造】鉄骨平屋建 【敷地面積】4630.46㎡

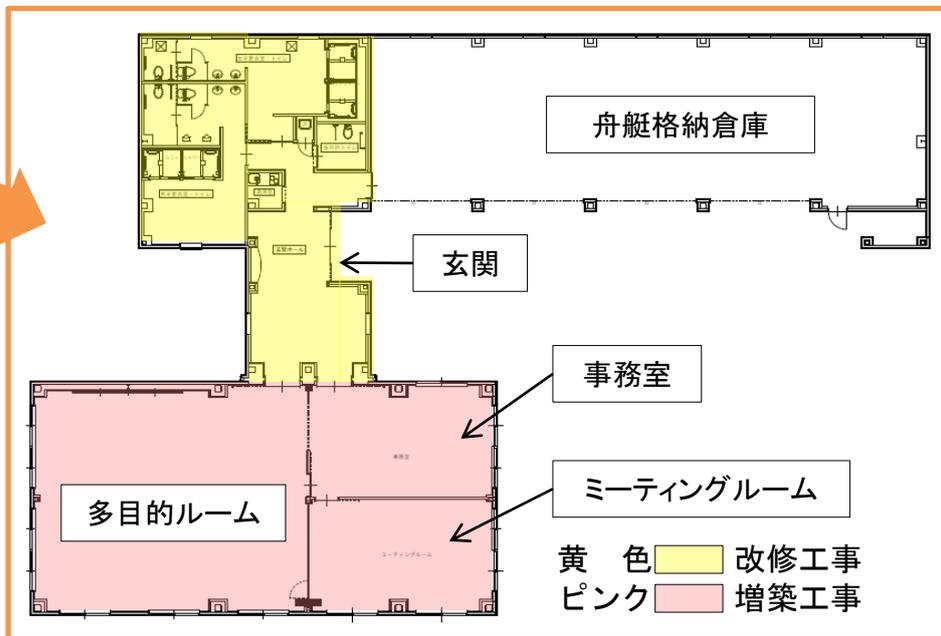
【建築面積】567.83㎡

【総工費】74,500,000円(税抜)

※ B&G財団支援3,000万円他

### 工事内容

- ・事務室及び多目的ルーム増設
- ・施設バリアフリー化
- ・障害者用シャワー室、多目的トイレ等改修



鹿児島県 天城町

モデル事業支援

テナント・売店

2017年度から2018年度にかけて鹿児島県天城町B&G海洋センターにて「海洋センター(艇庫)を活用したモデル事業」を実施。リニューアルオープンから約2年が経ち、ソフト事業の継続実施だけでなく、2019年度からは、施設改修時に増設したテナントスペースにてテナント(カフェ)の運営が始まりました。



地元ママさんの活躍の場を提供



店内にて物産品販売



人気のホットドック!

テナント概要

【店名】 rannikko (ラニッコ)

【販売物】 軽食・ドリンク・天城町物産品など

艇庫利用者人数の推移

2016年度

1,091人

2017年度

施設改修

2018年度

8,531人

2019年度(12月末まで)

10,409人

鹿児島県 与論町

コミュニティ付加改修

ミニスペース

艇庫の一角をフローリング化し、視聴覚器材を導入したことにより、多目的スペースとしての活用が可能となり、休憩場所だけでなく、「BG塾」や「絵画教室」などを実施できるようになりました。



文化系教室も艇庫で実施可能!



北海道 滝川市

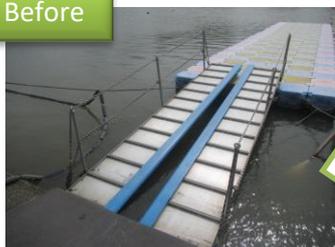
修繕助成

バリアフリー化支援

バリアフリー

子供たちや親子へ向けたマリンスポーツ体験に止まらず、目や身体が不自由な方へ向けたマリンスポーツ体験も提供できる土壌を整えるため、車いすでも渡れる栈橋を設置。このような取り組みが評価され、2020年東京パラリンピックカヌー競技に出場するアルゼンチンチームのホストタウンにもなっています。

Before



After



車いすでも  
乗り降り可能

京都府 京丹波町

コミュニティ付加改修

艇庫前のテラスに、木製テーブルやボルダリングウォールを設置。子供の遊び場やカヌー教室時などの休憩スペースとして提供しています。

宮城県 亘理町

災害復旧舟艇配備

2018年5月に復旧した東日本大震災津波で全壊した艇庫は、舟艇器材の配置を工夫し、指導者手作りのオシャレな休憩スペースを設置。利用者の方の憩いの場として活用しています。

ボルダリング



休憩スペース



器材配備他

海洋センターの新たな可能性 ~プール編~

大分県 中津市

海洋クラブ制度

水上スキー

艇庫を有していない海洋センター(1類・4類)も、工夫しながら自然体験活動を推進しています。中津市では、水辺の自然体験のファーストステップとしてプールを活用しています。子供たちと保護者の方に安全性について理解いただくため、プールで「水上スキー」体験会を実施。その後の、耶馬溪ダムで行っている「水上スキー」や「カヌー」体験につなげています。

艇庫がない海洋センターでも  
自然体験活動ができます！

海洋クラブ登録制度

海洋クラブとして登録することにより  
上限250万円までの舟艇器材等  
を配備する制度です。

募集期間：2020年4月～5月(予定)

プール



自然フィールド



艇庫のないセンターでも、『活動器材配備助成制度』や『海洋クラブ登録制度』を活用することにより、カヌーなどの器材配備の支援を受けることができます。

# ■ 修繕助成制度 艇庫特別施設整備

「地域海洋センター修繕助成制度」では艇庫特別施設整備を設けています。この制度は、艇庫の多機能化を目的とした建替え・移設・増築を行う場合には、舟艇及び器材購入費も含め3,000万円（助成率上限50%以内）を支援するもので、2018年から概ね5ヵ年間に限った特別措置となっています。



## 次世代型海洋センター艇庫を活用した先進的活用事業とは

B&G財団では、海洋性レクリエーションの更なる促進と現代のニーズに合わせた施設運営をサポートするため、様々な『艇庫』施設の支援を行っています。本事業は、各自治体と連携・協力し、主にソフト面を支援しています。

